

意見提出者	財団法人日本データ通信協会タイムビジネス協議会 (JADAC TBF)
1. 項目	インターネット利用に対する不安の除去施策
2. 既存の制度・規制等によってICT利活用が阻害されている事例・状況	制度・規制ではないが ICT 利活用を阻む要因として暗黙的にインターネットを介して外部機関との接続を行うことへの不安が考えられる。単に規制を撤廃すると言う法的な対応のみで無く、不安解消の為に具体的な利用ガイドを必要とする。
3. ICT利活用を阻害する制度・規制等の根拠	実際には、金融機関や医療機関等では、この不安から、TSA/CA 等の TTP (Trusted Third Party) へのインターネットによる接続を拒否される事例もある。また、ユーザにとっても、より強固 (高価) なシステム構築を行うか、どこかで紙媒体での運用とすることにより不安を解消することになり、結果的に ICT の活用によって実現出来るはずの効率良い電子情報の管理やトレーサビリティが確保できない事例もある。
4. ICT利活用を阻害する制度・規制等の見直しの方向性についての提案	そこで、きちんと対応さえすれば、インターネット接続で外部機関を活用・利用することで、より安全・安心かつ利便性の高い電子情報による管理・運用が可能であるというガイドラインを、出していただきたい。 すなわち、ICT 利活用推進の為に、電子署名・認証・タイムスタンプなど現行の仕組みを有効に活用することで、紙と同等の安全性が確保出来かつ業務効率が向上することを明記したガイドラインを希望します。